



すくすくだより



2007年
12月号



明照保育園

北風ピューピューとっても寒い季節が続きます。でも、そんな寒い季節でもお子さん達の元気に走り回る姿をみると、子どもは風の子だと実感させられます。

今月は楽しいイベントのひとつであるクリスマスがありますね。どの家庭もプレゼントのリクエストの声があがっていませんか。今回は寒い冬には欠かせない暖房器具や体を温める飲み物、お風呂などによって起こりやすい「やけど」についてお話します。

「やけど」をあまく みてませんか？



「やけど」って何？

「やけど」とは、医学的には「熱傷」といわれ、高い温度の湯・水蒸気や火などが一定時間以上あたることで、皮膚や粘膜が傷ついてしまう「けが」のひとつです。

また思いがけないことに40～55度くらいのそれほど高い温度でない場合でもやけどをします。これを「低温やけど」といい、この低温やけどは冬に使用頻度の多い「電気毛布」「電気カーペット」「使い捨てカイロ」などの比較的低い温度に長時間あたることでおこります。

やけどをすると、やけどした部分が赤くなり腫れ、水ぶくれができます。

ひどい場合は肌に痕を残したり、命を失うこともあるので予防が大切です。

やけどの原因になりやすいもの

やかん・ストーブ・汁物・カップ麺類
花火・アイロン・ポット・ガスコンロ

やけどの予防法

- ・お湯は必要なときに必要な分だけ沸かして使い切る。
- ・浴槽にお湯を入れるときは戸をしっかりとめる。
→子どもの侵入防止
- ・テーブルクロスは使わない。
→汁物などの落下防止
- ・汁物はぬるめにする。
- ・カップ麺類などの不安定な器から安定したどんぶりなどの器に移す。
- ・炊飯器や電気ポットの水蒸気がでる部分はお子さんの手が触れないところへ移す。
- ・花火遊びは必ず大人と一緒にする。バケツに水をお忘れなく！
- ・ライターのような火がつく危険なものはお子さんの手が触れないところへしまおう。
- ・タバコの火はきちんと消す。

手の届かないところへ

お風呂に落ちちゃう！ つゆはぬるめに、安定した器に！

大人と一緒に



やけどをしたら？

手足

すぐに水道の蛇口かシャワーの流水で冷やす。(20～30分)

※水圧は弱めに！

全身・広範囲

お風呂の浴そうなどに水を張って冷やす。

顔・頭など

氷水の浸したタオルや氷をいれたビニール袋などを当てて冷やす。

注意！！

※やけどした皮ふが服にくっいている場合は無理矢理はがしてはいけません。

※服の上から水をかけても大丈夫！



こんなときは病院へ



- ・顔・頭・指の関節部分のやけど
- ・水ぶくれができたとき
- ・皮ふがジュクジュクしているとき
- ・低温やけどをしたとき

※診察してもらうまでは薬をつけたり、水ぶくれをつぶしてはいけません！

◎皮ふが黒くこげたり白く変色するようなひどい場合は、すぐ救急へ！！

12月の健診 日程のお知らせ

4か月児健診 (受付 9:00～10:50)

4・11・18・25日

1歳6か月児健診 (受付 12:50～14:00)

5・12・19・26日

3歳児健診 (受付 12:50～14:00)

6・13・20・27日

場所 母子保健センター

対象者には、ご自宅へ健診日の約1か月前に健診票が郵送されますので、ご案内の日時に健診を受けてください。

豊橋市役所 保育課 保育グループ
保健だより

2007年12月1日